

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第22回 3部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グランデール溝の口 502号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第22回 第3部

2018年7月24日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったのでその議事録要旨を作成する。

【議題】

アットホーム表参道クリニック様

「多血小板血漿(Platelet-rich plasma: PRP)を用いた整形外科疾患に対する組織修復」

第1 審議対象及び審議出席者

1 日時場所

日 時：平成30年7月24日（火曜日）第3部 19:55～20:30

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-17-3 渋谷東宝ビル

2 出席者

出席者：内田委員、佐藤委員、高橋委員、菅原委員、山下委員、中村委員
角田委員（電話会議システムにて出席）

欠席者：井上委員、奥田委員、栃原委員、坂口委員

申請者：院長 腰塚 裕先生

申請施設からの参加者：院長 腰塚 裕先生

陪席者：（事務局）坂口雄治、木下祐子、坂口千恵

3 技術専門員 寺尾先生（出席） 医療法人 八千代会 理事長

4 配付資料

資料受領日時 平成30年7月5日

（本審査資料）

- ・再生医療提供計画

「審査項目：多血小板血漿(Platelet-rich plasma: PRP)を用いた整形外科疾患に対する組織修復」

- ・再生医療等提供基準チェックリスト

（事前配布資料）

- ・再生医療等提供計画書（様式第1）
- ・再生医療等の内容を出来る限り平易な限り表現を用いて記載したもの

- ・ 提供する再生医療等の詳細を記した書類
- ・ 略歴及び実績
- ・ 説明文書・同意文書
- ・ 特定細胞加工物概要書
- ・ 特定細胞加工物標準書
- ・ 品質リスクマネジメントに関する書類
- ・ 個人情報取扱実施管理規定
- ・ 再生医療等に用いる細胞に関する書類
- ・ 国内外の実施状況
- ・ 特定細胞施設基準書
- ・ 特定細胞施設手順書
- ・ 細胞培養加工施設の構造設備チェックリスト
- ・ 特定細胞加工物製造届書

(会議資料)

- ・ 再生医療等提供基準チェックリスト
- ・ 再生医療等提供計画書（様式第1）

第2 審議進行の確認

1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 一 過半数の委員が出席していること。 二 男性及び女性の委員がそれぞれ二名以上出席していること。 三 次に掲げる者がそれぞれ一名以上出席していること。 イ 第四十四条第二号に掲げる者 ロ 第四十四条第四号に掲げる者 ハ 第四十四条第五号又は第六号に掲げる者 ニ 第四十四条第八号に掲げる者 ホ 技術専門委員（審査等業務の対象となる再生医療等の対象疾患等に対する専門的知識を有する者をいう。以下同じ。）（第四十四条第二号又は第三号に掲げる者が、審査等業務の対象となる再生医療等の対象疾患等に対する専門知識を有する場合には、当該者） 四 出席した委員の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有するものを含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。 五 認定委員会設置者と利害関係を有しない委員が含まれていること。 |
|---|

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

今回審査を行う申請者と専門技術員として寺尾技術専門委員の紹介をした。

続いて、申請者に各委員の紹介をした。

- 2 委員長から再生医療等提供基準チェックリストを項目別に読み上げるよう事務局の坂口雄治に依頼し、同時に各委員には随時疑問点があれば挙手にて質問し、確認を求めて進めて行き、個別の質問には腰塚先生が答える形式で進めるように説明があった。
- 3 委員長菅原委員が進行をする事とした。

第3 厚労省の再生医療提供基準チェックリストにもとづく審議及びそれ以外の質疑応答

<多血小板血漿(Platelet-rich plasma: PRP)を用いた整形外科疾患に対する組織修復>

- 1 **【問】** 寺尾技術専門委員より、PRPを作るデバイスとしてGPSとAPSの2種類にした理由はどうしてですかとの質問があった。
【答】 腰塚先生より、もともとGPSに実績があったが、欧米でも最近APSが良いと言われていて、進化している状態です。価格も2種類で異なります。GPSですむ患者さんはGPSで、それではダメならAPSでと、患者さんに選択してもらうためですとの回答があった。
- 2 **【問】** 菅原委員より、品質リスクマネジメント手順書の制定日付が、表紙と改訂履歴表が異なっていますとの指摘があった。
【答】 腰塚先生より、確認して訂正しますとの回答があった。
- 3 **【問】** 山下委員より、自施設で採血・細胞加工を全て行いますが、それ用の部屋があるのかとの質問があった。
【答】 腰塚先生より、もともと処置室だったところの一部にクリーンベンチと遠心分離機を置きました。そもそも、このPRPは赤血球が多く入っているので、感染は少ないし、感染の報告もない。でも、部屋の広さもあり、クリーンベンチは念には念をとという形で入れましたとの回答があった。

寺尾技術専門委員より、このデバイスは完全閉鎖式なので、クリーンベンチも本来は必要ないものですが、一応あった方がいいとのことでしたとの意見があった。

上記の質疑応答の他、厚労省の再生医療提供基準チェックリストのすべてのチェックを終えて、議事を閉会した。この間、委員の構成に変更はなかった。

第4 判定

- ・アットホーム表参道クリニック様

「多血小板血漿(Platelet-rich plasma: PRP)を用いた整形外科疾患に対する組織修復」
について検討

1. 各委員の意見

- (1) 承認 7名
- (2) 条件付き承認 0名
- (3) 非承認 0名

2. 委員会の判定

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等に用いられる再生医療等技術の安全性の確保および生命倫理への配慮がなされ、再生医療提供者が講ずべき措置を行うものと判断する。同時に再生医療等の安全性の確保等に関する法律および施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。

以上に鑑み、今回審査した計画について「承認」と判定する。

以上